

# 空飛ぶクルマの国内外の最新動向

日時 2024年7月31日(水) 午後1時～5時  
受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## I. 「空飛ぶクルマ」の制度ならびに政策動向 【13:00～13:55】

「空飛ぶクルマ」はわが国では2025年大阪関西万博、海外では2024～25年を目標に型式証明取得が進められている。「空飛ぶクルマ」は電動主直離着陸機(eVTOL)という過去にない航空機であり、認証制度作りが課題であり、運航に関しても、そのための離発着施設の規格制定も必要など、制度面での整備が政策的に進められている。そうした状況を概説したい。

1. 空飛ぶクルマの原理と設計の進化
2. 空飛ぶクルマの型式証明の方向性
3. 空飛ぶクルマ運航のための環境整備
4. その他
5. 質疑応答/名刺交換

東京大学大学院 名誉教授/未来ビジョン研究センター 特任教授 鈴木 真二 氏

## II. AAM(空飛ぶクルマ)の実像:「3つの約束」と2030年に向けての実現化シナリオ 【14:00～14:55】

2025年の大阪関西万博で国内でも話題となっている「空飛ぶクルマ」だが、海外ではAAM(Advanced Air Mobility)、eVTOL(electric VTOL)と呼ばれる次世代エアモビリティで、「航空機」である。その実現化、社会実装には「安全」、「安心」、「継続」という、AAM(空飛ぶクルマ)としての3つの約束が必要となる。「安全」は言うまでも無く認証・認可であり、「安心」はPE(Public Engagement)やPA(Public Acceptance)など。そして、社会実装されたAAM(空飛ぶクルマ)がビジネスなどで(このためにはインフラやエコシステムが必須)、継続的に運用されることが重要となる。ここでは、海外の最新動向と取組から「3つの約束」の実状と直面している課題、海外で先行する2030年に向けての実現化シナリオについて概説して、AAM(空飛ぶクルマ)の実像と今後を考察する。

1. 最新のAAM(空飛ぶクルマ)の動向と「3つの約束」
2. 「安全」:AAM(空飛ぶクルマ)の認証・認可と取組動向と今後(型式認証、操縦資格、運航認可等)
3. 「安心」:AAM(空飛ぶクルマ)の社会実装に向けての取組動向と今後(鍵となる公共性)
4. 「継続」:AAM(空飛ぶクルマ)のアプリケーションと事業採算性
5. 2030年に向けての実現化シナリオ(注目される2028年とその後)
6. 質疑応答/名刺交換

(株)航想研 代表/(公財)航空機国際共同開発促進基金(IADF) 理事 奥田 章順 氏

## III. 「自由な空の移動」実現に向けた交通管理と社会受容の課題と世界の取り組み事例 【15:05～16:00】

「空飛ぶクルマ」へは、自由な空の移動による課題解決への期待と、製造業としての新市場の開拓への意欲が、集まっています。この講演では、その自由な移動を築くための交通管理の視点、また、社会実装に必要な直接の顧客とはなり得ない地域住民との信頼の構築について焦点を当て、海外都市の次世代エアモビリティ計画とその進捗レポートから、交通管理の課題の整理や地域で望ましいアクションについての事例を紹介したいと思います。

1. 次世代エアモビリティの概要
2. 交通管理の視点での課題の整理
3. Vertiportの実装に向けた海外の取り組み事例
4. その他のモビリティとのインフラ共用に向けた海外の取り組み事例
5. 「社会受容の醸成」の落とし穴、地域と共に創る取り組み事例
6. 質疑応答/名刺交換

東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 特任研究員 中村 裕子 氏

## IV. 空飛ぶクルマの機体開発動向と社会実装に向けた日本国内の取組み 【16:05～17:00】

世界各国の様々な企業が空飛ぶクルマの機体開発を進めており、2025-26年には複数の機体が商業運航を開始する可能性がある。ここ日本においても大阪万博をきっかけに新しいモビリティとして定着させるべく、多くの企業・自治体が社会実装に取り組んでいる。本講演では各機体メーカーの最新の状況を解説するとともに、日本国内の企業・自治体の取組みについて網羅的に紹介し、今後の行く末を考察する。

1. 主要な機体メーカーの最新動向
2. 空飛ぶクルマに取り組む国内企業の紹介
3. 国内の自治体の取組紹介
4. まとめ
5. 質疑応答/名刺交換

(株)日本政策投資銀行 産業調査部 調査役 岩本 学 氏

## PROFILE 鈴木 真二(すずき しんじ)氏

1979年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。(株)豊田中央研究所を経て、1986年 東京大学工学部助教授。1996年より工学系研究科航空宇宙工学専攻教授。2019年より現職。工学博士。日本航空宇宙学会会長(第43期)、日本機械学会副会長(第95期)、国際航空科学連盟会長(2019-20)、日本 UAS 産業振興協議会理事長、など。主な著作:『落ちない飛行機への挑戦—航空機事故ゼロの未来へ』(化学同人)、『飛行機物語—航空技術の歴史』(ちくま学芸文庫)、『現代航空論—技術から産業・政策まで』(共編、東京大学出版会)。

## PROFILE 奥田 章順(おくだ あきのぶ)氏

1983年3月 早稲田大学理工学部理工学研究科修士課程修了(流体工学、田島研究室)。1983年4月~2018年3月 (株)三菱総合研究所経営コンサルティング本部 参与/チーフコンサルタント。2004年~2017年 北陸先端科学技術大学院大学 客員教授。2012年~ 公益財団法人航空機国際共同開発促進基金(IADF) 理事。2018年5月~2021年9月 (株)三菱総合研究所 客員研究員。2018年6月~ (株)航想研代表取締役社長。【現在の活動】これまでに航空宇宙関連の300を超えるプロジェクトを実施、現在は航空機の「脱炭素化(SAF、電動/ハイブリッド航空機、水素航空機、AAM/eVTOL等)の技術調査、市場分析、事業化コンサル等を行っている。AAMについては2000年代初めから20年以上、複数プロジェクトを手掛けている。【委員会活動】経済産業省 産業構造審議会 航空機産業小委員会 委員。IADF 航空機産業調査委員会 委員長、航空機技術調査委員会 委員。NEDO 航空機用先進システム実用化プロジェクト事業推進委員会委員。NEDO グリーンイノベーション基金事業/次世代航空機の開発プロジェクト委員。NEDO「革新的新構造材料等研究開発」(終了時評価)分科会 分科会長代理。NEDO 航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業委員。NEDO エネルギー・環境新技術先導研究プログラム委員 他。これまでに NEDO、SJAC、JAXA、東京大学、民間企業等、複数委員会委員を務めてきた。

## PROFILE 中村 裕子(なかむら ひろこ)氏

一般財団法人日本無人機運行管理コンソーシアム事務局次長(UAM 自治体連絡会発起人)。国内自動車会社を経て、東京大学(航空イノベーション総括寄附講座)へ。2013年、工学博士(東京大学)取得。2017年8月より2023年3月まで特任准教授としてイノベーションマネジメント、ドローンリスク管理、低高度空域運航管理(UTM)、国際標準規格化の研究に従事。イノベーションの実現に向けて各種ネットワークの運営に従事—現職の他、JUIDA 参与、航空の自動化/自律化委員会主査、無操縦者航空機委員会(JRPAS)幹事、エアモビリティ自治体ネットワーク(UIC2-Japan)発起人など。東京大学出版会「ドローン活用入門: レベル4時代の社会実装ハンドブック」編者。

## PROFILE 岩本 学(いわもと まなぶ)氏

2012年に株式会社日本政策投資銀行に入行。企業金融第4部に国内外的エアライン・リース会社向けの機材ファイナンス業務に従事した後、アセットファイナンス部に物流不動産やデータセンター向けの不動産ファイナンスを担当。2019年より航空宇宙室にて国内外の航空機関連メーカー向けファイナンス業務や空飛ぶクルマを含む航空宇宙関連のイノベーション分野の調査業務を担い、2022年より産業調査部にて次世代エアモビリティの調査を担当するとともに、全国各地で社会実装実現のための活動を推進している。(一社)日本航空宇宙学会 会員。

- 受講料 各受講方法 1名につき 27,500円(税込)  
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又はFAXにてお申し込み下さい。  
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)を郵送致します。  
お申込み後、5営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。  
(セミナー会場にて受講される方は、受講証を当日ご持参下さい)  
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。  
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅る場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。  
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので受講証に同封の用紙でご連絡下さい。

■ライブ配信について <1>Zoomにてライブ配信致します。<2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用URLとID・PASSを開催前日までにお送り致しますので、開催日時にZoomへご参加ください。

■アーカイブ配信について  
<1>開催日より3~5営業日後を目安にVimeoにて配信致します。  
<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができれば、視聴用URLをお送り致します。  
<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

7月31日(水)

「空飛ぶクルマの国内外の最新動向」

申込日 月 日

貴社名

所在地

○印をお付けください。(ご自宅・お勤め先)

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ□をお入れ下さい。)

会場受講

ライブ配信

アーカイブ配信

フリガナ  
氏名

所属部署・役職

TEL

( )

-

FAX

( )

-

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄

●E-mail アドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]

- セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。  
※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。  
※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい!ご紹介いただいた方にはAmazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。  
※上記お申込フォームに、ご郵送先(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金

■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 24295-V

